

Marpスライド包括的サンプル

| `marp_work_theme` のためのデモ

目次

1. 基本的な書式設定
2. リスト（順序付き・順序なし）
3. コードブロック
4. 表
5. 画像
6. 2カラムレイアウト
7. 数式 (KaTeX)
8. 結論

章の区切りのスライド

1. 基本的な書式設定

見出し2

見出し3

見出し4

これは通常の段落です。Marpでは、特に指定しない限り、テキストは段落として扱われます。
改行するには、行末にスペースを2つ入れるか、空行を挿入します。

- 太字
- 斜体
- 打ち消し線
- インラインコード

これは引用ブロックです。

長い文章や他の人の言葉を引用する際に使用します。

2. リスト

順序なしリスト

- アイテムA
 - サブアイテムA1
 - サブアイテムA2
- アイテムB

順序付きリスト

1. 最初のステップ
2. 2番目のステップ
 - i. サブステップ1
 - ii. サブステップ2
3. 最後のステップ

3. コードブロック

```
# Pythonのサンプルコード
def hello_marp(name: str) → None:
    """Marpに挨拶する関数"""
    print(f"Hello, {name}!")

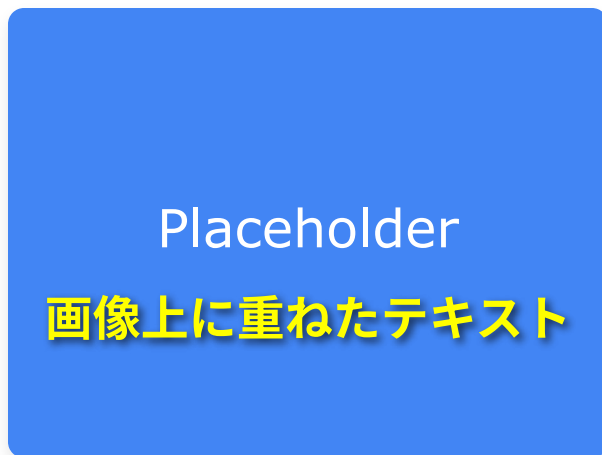
hello_marp("Marp")
```

4. 表

ヘッダー1	ヘッダー2	ヘッダー3
左寄せ	中央寄せ	右寄せ
a	b	c
long text	short	data

5. 画像

通常の写真



画像の上にテキストを重ねる

divで囲んでクラスを作れば画像の上に文字を重ねることができます。

背景画像

右に表示されているものは背景画像ですが、上にコンテンツは載せられません。

Placeholder

このスライドのみ前章で紹介した[bg]によって全体に背景を設定しています。

6.3 カラムレイアウト

左側カラム

- こちらは左側のコンテンツです。
- テキストやリストを配置できます。

中央カラム

- こちらは中央のコンテンツです。
- 画像やコードなどを配置できます。

```
console.log("Hello, columns!");
```

右側カラム



重ねたいテキスト

7. 数式 (KaTeX)

インライン数式

アインシュタインの有名な方程式は $E = mc^2$ です。

ブロック数式

$$\int_a^b f(x)dx = F(b) - F(a)$$

ご清聴ありがとうございました

- 質疑応答
- お問い合わせ: your_email@example.com